

児童発達支援事業所における自己評価について

事業所名 ラルーチェめぐみ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1		・状況に応じて個別対応をしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	3		1	・利用児の状態、人数等により補助し合っている。 ・余裕があるとは言えないが協力し合っている。勤務状況や配置を共有するようにしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	2		・施設の出入り口には段差がなく、指導室には動物の表示を行い、利用児に分かり易くしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	1		・毎日、清掃、次亜塩素の希釈液で消毒拭きを行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			・定期的に話し合っている。 ・チームの目標管理シートを使用し全職員が参画できるようにしている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			・評価結果を職員に周知している。できることから改善を行うようにしている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			・評価については毎年ホームページに載せ、公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3		・岡山県の施設サービス自主評価を実施し、HPに公表をしている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	3		・配置の都合やコロナ禍により参加が難しいこともあった。来年度は、事業所内での研修以外にも外部での研修に参加し専門性を高めていきたい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4			・コロナ禍のため十分な実施を行うことができなかったが、9月、2～3月にモニタリングとアセスメントを実施し、ニーズの把握を行い、支援計画に載せている。 その子その子に合った療育活動ができるように努めている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			・チーム内で話し合い、内容が被らないように努めている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			・生活面、運動面、認知面、社会性など多方面から取り組みができるよう配慮して計画している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4			・個の力が必要な課題、集団で伸ばせるコミュニケーション力など個別と集団での活動を組み合わせる支援している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			・できるだけ心掛けてはいるが、開始前に伝えられなかった職員に対しては直前になってしまうこともある。

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2		2	・できるだけ心掛けており、時間が取れる際には話し合いを行うが利用児の延長支援や職員の勤務体制上、十分にできていない。 ・打ち合わせとまではいかないが、振り返りの話をしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			・引き継ぎ簿、連絡帳、週案などで記録し、評価、改善に努めている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4			・9月、2～3月にモニタリングとアセスメントを実施し、ニーズの把握を行い、支援計画に載せている。また、利用児の状況が変化した場合など必要に応じてモニタリングを行い判断している。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			・事前に療育担当職員からの情報を得て、児発管で対応している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4			・保健師からの情報をもらい、保育園などと情報共有を行い支援に反映させている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				非該当
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				非該当
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	1		・移行に向けて、担当者会議にて情報提供をしている。 ・まだまだお互いに共有が不十分なところがある。法人内の保育園では研修等で話をする機会があるが、地域の保育園や幼稚園とも情報交換ができるように連絡を取り合っていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4			〃
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1		3	助言を受けるまでに至っていない。他事業所への見学等を実施し療育内容の向上にむけていきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		1	3	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	1		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1	2		・送迎時で話すようにしている。連絡帳の使い方などについては検討をし、療育内容が十分に伝わるようにしていく。
保護者	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		1	3	・コロナ禍のため実施できなかった。参観日については実施できたため、来年度も保護者の方が交流できる場をつくるなどしていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	3	・法人の親の会はあるが、事業所としての保護者会はない。コロナ禍のためタベの集いの行事も十分にできなかったため、来年度については実施を検討する。

各 への 説明 責任 等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			・ラレーチェだより、学園広報、ホームページで発信している。ホームページの更新については行事だけでなく、普段の療育内容についても発信できるようにしていく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			4	・コロナ禍のため、行事についても縮小し利用児のみのものとなった。今後は地域の方との交流の場を設けていきたい。
非 常 時 等 の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4			・防災マニュアルの見直しや災害時の対応について、保護者に手紙を配布する。 ・利用の曜日により、毎月の参加は難しいが、名簿で参加の有無を確認し、できるだけ参加できる工夫を行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			・火災避難訓練は毎月、風水害、地震、不審者など災害訓練は年間1回ずつ実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4			・面接時に必ず確認を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			食物アレルギーの方はいないが、その都度指示書の提示を依頼する。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			・事業所のみならず、法人全体で行っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			・法人全体や職員会議にて行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4			・今年度の児発の利用の方については不在であるが、相談が必要な場合には保護者や相談支援事業所と話し合いを行うようにする。